

## 北海道に於ける代表的橋梁……(2)

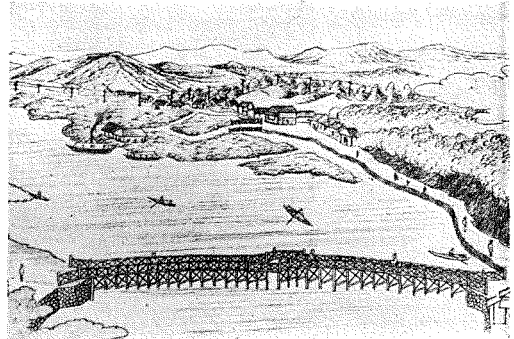
### 幣舞橋改築工事概要

釧路市街を貫通する釧路川に架設された幣舞橋は豊平橋の竣工を俟つて起工されたもので、大正13年3月幣舞假橋を竣工し、越えて14年3月本橋工事に着手、3年8ヶ月の日子に總工費86萬5千圓を投じて昭和3年10月完成を見るに至つたものである。

〔形式〕 はプレートガーダー式、徑間72呎5連を架設し全長376呎（ピンセンター）である。幅員は59呎7吋<sup>3</sup>で、中央18呎を電車道としてその兩側11呎5吋<sup>3</sup>宛を車馬道、兩端に9呎4吋宛の歩道が設けられた。

〔橋臺及橋脚〕 橋臺2基、基礎は木造枠を使用し幅16尺乃至19尺長110尺に土砂を掘鑿し（河底下15—27尺）軟盤に達せしめ、更に軟盤を掘り下けて枠内に混凝土を填充し基礎部を作り、上體は幅10尺—4尺、前面は黒燒過煉瓦積で化粧、上下流尖端は花崗石で半圓形に積み上げ背部に混凝土を施し、補強材として基部上體を通じて3縦列に鐵筋が挿入された。橋脚も基礎は橋臺同様枠下け工法に依り木枠を上下2個、深15尺—25尺に至るまで沈下し、内部に混凝土を填充し、上部は2個の基礎枠を連続して「アーチ」を構成し、外側は花崗石を積み上げ、内部は混凝土で充填された。橋臺橋脚共床石は厚1尺2寸の花崗石が用いられてゐる。

〔橋體〕 中央は中間距離6呎11吋<sup>3</sup>に深4呎

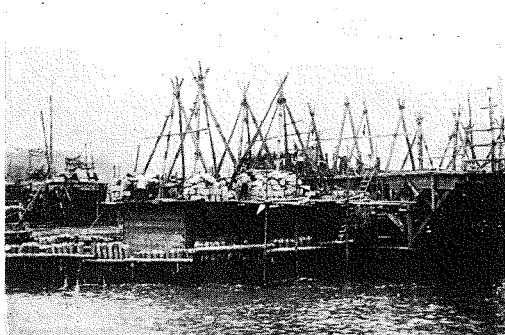


(3) 明治二十二年架設愛北橋全景圖

6吋（エツブプレート厚 $\frac{3}{8}$ 吋）のメンガーダー7個、兩側は8呎11吋<sup>3</sup>に深9呎乃至4呎10吋（エツブプレート厚16分の7吋）のもの2個を架設し之に長9呎<sup>3</sup>吋毎に中央は深1呎7吋兩側には深3呎2吋の「クロスビーム」を取付け其上に各ガーダー間に2列の縦筋深1呎のI形ビーム及15吋チャンネルを架し、各ガーダーの下部を綾構で締結して橋體を構成したものである。兩外側のガーダーは、美觀上特にアーチ型に作成された。以上に用した鋼材の總量882.84噸。

〔橋面〕 中央は厚7吋<sup>3</sup>の鐵筋混凝土牀版、車道は牀版の上に厚3吋乃至5吋<sup>3</sup>の混凝土を打ち上部は厚2吋のアスファルトコンクリート及モルタルの二層を以て仕上げられた。歩道は厚5吋<sup>3</sup>乃至7吋の鐵筋混凝土牀版を作り上部厚1吋のアスファルトモルタルで舗装された。橋面工事に使用した鐵筋の總重量は77.36噸。

〔裝飾及高欄〕 橋臺兩袖は花崗石を高10尺積み上げ基部を作り、上部は下幅9尺上幅3尺高22尺5寸を彫刻石で積み親柱とした。親柱の間には照明燈が各4個宛配置され、橋脚の兩端にも高5尺の石積臺を設けてブロンズ製ポストを置き之に照明燈が各2個宛附けてある。高欄は凡て鑄鐵製で、ガーダー上に厚1尺2寸の笠石を置き6尺5寸8分毎に支柱を建て、手摺が取付けられたのである。



(4) 現在の幣舞橋基礎掘鑿の景